

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前にこの説明書と同封のブレーカ取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。この説明書は、必ず保管してください。

### 安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。  
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

	死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況を示します。	お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。
	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況 および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。	注意する してはいけない
		必ず守る

### ■保管上のご注意

#### △注意

	高温、多湿、じんあい、直射日光、腐食性ガスなどの雰囲気で長時間保管しないでください。筐体が劣化し破損するおそれがあります。		梱包状態で保管してください。発熱・発火のおそれがあります。
--	---	--	-------------------------------

### ■施工前の確認事項

#### △危険

	i plug を取付ける配電盤には、弊社指定の部品を使用してください。感電・火災のおそれがあります。		上位ブレーカなどを OFF 状態にして、母線が充電していない状態にしてください。短絡事故・感電のおそれがあります。
--	--	--	---

### ■施工上のご注意

#### △危険

	母線や端子部に触れないでください。短絡事故・感電のおそれがあります。		母線が充電している状態で i plug を母線から引き抜いたり差し込んだり、取付ねじを緩めたりしないでください。短絡事故・感電のおそれがあります。
--	------------------------------------	--	---

#### △注意

	修理、分解および改造は行わないでください。火災、感電および故障のおそれがあります。		電線の接続は各極の端子に電線が平行に接続されるように、事前に電線を成形した上で端子ねじを確実に締め付けてください。また、ブレーカの端子に電線の重量が過度に加わらないように、電線を固定してください。短絡事故・感電のおそれがあります。
	高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に設置しないでください。感電、火災や動作しないおそれがあります。		i plug は、i plug 取付ねじで確実に配電盤に取り付けてください。その際、黄色（汎用形は白色）の接続完了表示が完全に表示されていることを確認してください。i plug の脱落・けが・火災・過熱・ブレーカの不要動作のおそれがあります。
	DC(直流)には使用しないでください。対応しておりません。故障や動作しないおそれがあります。		i plug の受け付け・取り外し作業および搭載されたブレーカへの配線作業は、i plug に搭載されたブレーカおよび上位ブレーカを OFF またはトリップ状態にし、電気がきていなことを確認して行ってください。感電・けが・火災のおそれがあります。
	被覆より線を無理に引っ張ったり、押し込んだりしないで下さい。発熱・発火のおそれがあります。		インパクトドライバーなどによる過大な力が遮断器に加わらないようにご注意ください。破損の原因になります。
	サブベース固定ねじは、規定トルク以上で締めないでください。締めすぎるとベースを破損するおそれがあります。		400,600AF の i plug 接触子を母線から引き抜く際は、差込台スタッフボルトの先端が差込台取付ナットから 1 mm程度突出した状態で行ってください。差込台スタッフボルトを取り外しての引き抜きは、i plug の脱落・けがのおそれがあります。
	i plug 接触子の母線と接触部（P.4 図 4 斜線部分）には触らないでください。また、埃、油などが付着しないようにしてください。発熱・発火のおそれがあります。		相切替時に i plug 接触子は、側面（P.4 図 4）を持って切り替えを行ってください。発熱・発火のおそれがあります。
	電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。		被覆より線は、より線押さえリブの下を通して下さい。より線が浮いているとサブベースをベースに確実に固定できません。
	配線作業は、上位ブレーカを OFF にし、電気がきていなことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。		また、サブベースとベースの固定を誤った状態で分電盤へ取り付けると i plug 接触子が母線に差し込まれなかつたり、取り外す時に i plug 接触子が変形するおそれがあります。サブベースとベースの固定は、確実に行ってください。
	ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物および雨水などが製品内部に入らないように施工してください。火災や動作しないおそれがあります。		サブベースをベースにはめににくい時は、ベースの i plug 接触子固定部に i plug 接触子が、確実に奥まで収まっているか確認してください。サブベースを無理にはめると、破損するおそれがあります。
	本体の定格にあった電源に接続してください。不動作および故障のおそれがあります。		
	電源側と負荷側の表示のあるものは、表示のとおりに正しく配線してください。火災や故障のおそれがあります。		
	配線は適合した電線や銅バーを使用してください。不要動作および火災のおそれがあります。		

## ■使用上のご注意

### ⚠ 危険

	母線や端子部に触れないでください。短絡事故・感電のおそれがあります。		母線が充電している状態で i plug を母線から引き抜いたり差し込んだり、取付ねじを緩めたりしないでください。短絡事故・感電のおそれがあります。
	i plug に搭載されたブレーカの電源側端子カバーは、外さないでください。短絡事故・感電のおそれがあります。		

### ⚠ 注意

	保守・点検は、専門知識を有する人が上位ブレーカを「OFF」にし、電気がきていなことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。		自動的に遮断した場合は、原因を取り除いてからハンドルを ON してください。火災のおそれがあります。
	i plug 接触子からリングバネが外れていないか確認してください。発熱・火災のおそれがあります。		

## ■適用機種

シリーズ	極数	AF	i plug		適用機種	
			PL タイプ	PH タイプ	サーキットブレーカ	漏電ブレーカ
協約形	2P	50	○	○	NE52C,CX,CHX	GE52C,CX
		60	○	○	NE62C,CX	GE62C,CX
		100	○	○	NE102CA,CX	GE102CA,CX
	3P	50	○	○	NE53C,CX,CHX	GE53C,CX
		60	○	○	NE63C,CX	GE63C,CX
		100	○	○	NE103CA,CX	GE103CA,CX
経済形	2P	125	○	○	NE123CX	GE123CX
		50	○	○	NE52A	GE52A
		60	○	○	NE62A	GE62A
		100	○	○	NE102A	GE102A
		150	○	○	—	GE152A
	3P	50	○	○	NE53A	GE53A
		60	○	○	NE63A	GE63A
		100	○	○	NE103A	GE103A
		150	○	○	NE153A	GE153A
		225	○	○	NE223	GE223
		250	○	○	NE253	GE253
		400	—	○	NE403A	GE403A
		600	—	○	NE603Y	GE603Y
汎用形	3P	100	—	○	NE103SA,SU	—
		225	—	○	NE223SA,SU	—
		400	—	○	NE403SA,SU	—
		600	—	○	NE603SA,SU	—

### ご注意

- ※1. 3P サイズ
- ※2. ブレーカを搭載した i plug には、取付板から保護板までの高さが 81 mm の PL タイプと 125 mm の PH タイプの 2 種類あります。
- ※3. 400,600 AF は、幹線 600A 以上(母線サイズ 10×50 mm 以上)でお使いください。

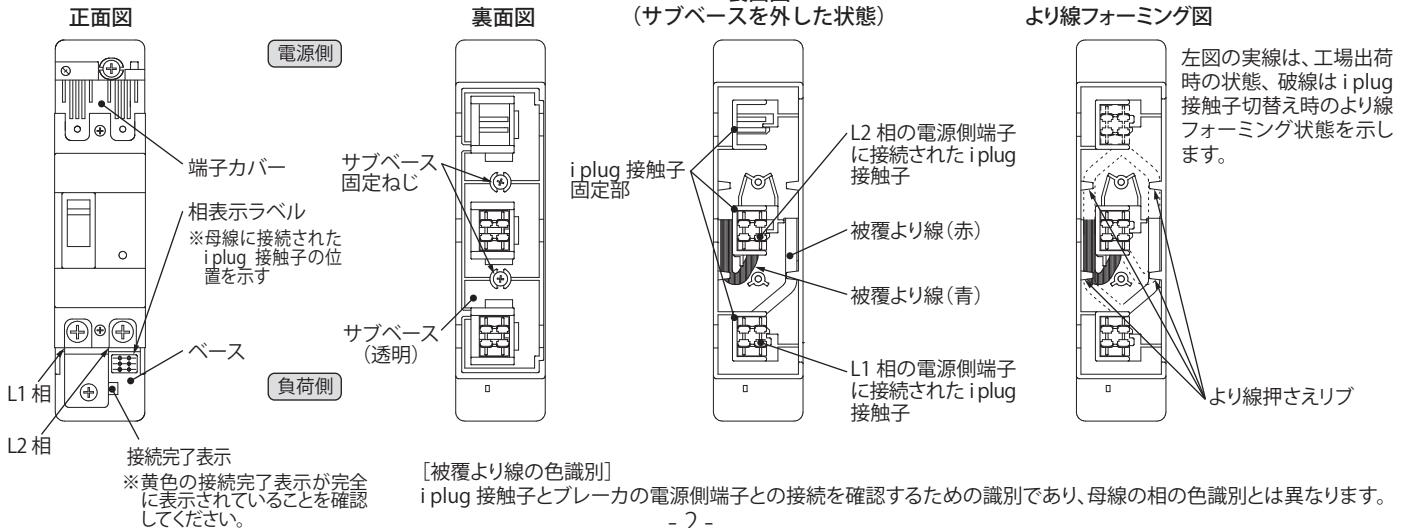
## ■グリスについて

iplug接触子のグリスが取り付ける前に蒸発・変質した場合は、次のグリスを適量塗布してください。メーカー:Electrolube 品番:2GX

### ご注意

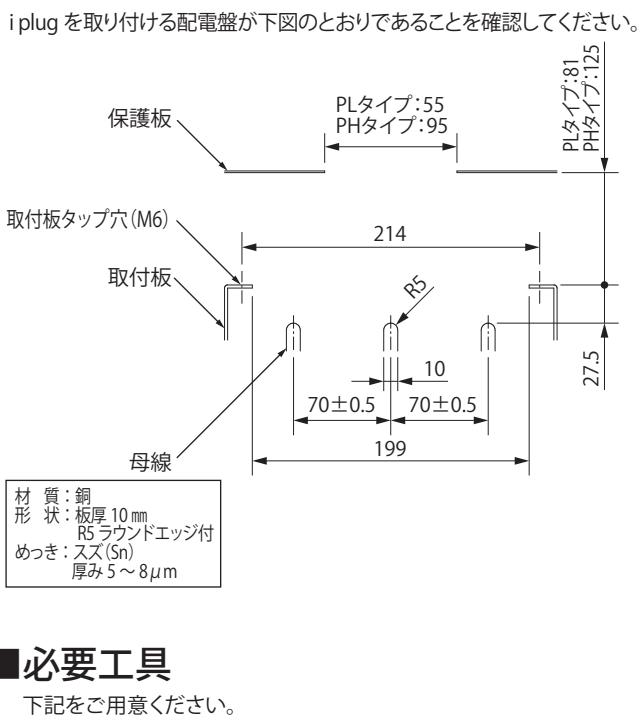
グリスはじんあい、腐食性ガスなどの異常環境によって蒸発・変質することがあります。

## ■各部の名称(2Pタイプ)



## ■配電盤取付寸法

(単位:mm)



## ■必要工具

下記をご用意ください。

使用時	共通	充電部保護板取付用	400,600AF 用
部品名	④ドライバー (No.3)	ニッパーまたはラジオペンチ	・④ドライバー (先端厚 2 mm × 幅 12 mm以下) ・スパナ (対辺 10) ・ボックスレンチ (対辺 8, 深さ 25 mm以上)

## ■使用方法

### ●50,60,100,125,150,225,250AF

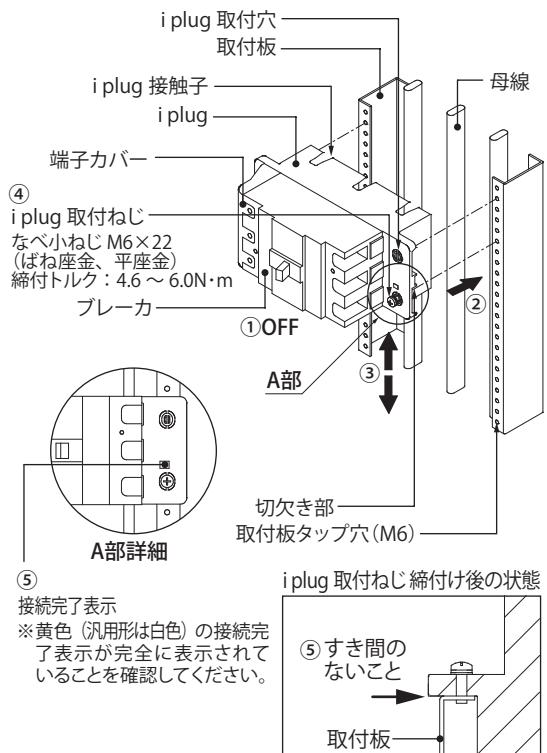
#### ○取り付け(右図参照)

- ①i plugに搭載されたブレーカをOFF状態にします。
- ②i plugを手で持ってi plug接触子と母線の掛かりを合わせ、押し込んでi plug接触子を母線に差し込みます。
- ③i plug取付穴と取付タップ穴を合わせます。母線に差し込まれた状態で、手でi plugを動かして合わせてください。
- ④i plug取付ねじ(2カ所)を+ドライバーで締め付けます。  
(汎用形は、i plug取付穴にi plug取付ねじ(2カ所)を挿入してから締め付けてください)
- ⑤黄色(汎用形は白色)の接続完了表示が完全に表示されていること、およびi plugと取付板の間に隙間のないことを確認します。

#### □取り外し

- ①i plugに搭載されたブレーカおよび上位ブレーカをOFF状態にします。
- ②i plug取付ねじ(2カ所)を緩めて外します。  
i plug取付ねじは、完全に緩めてもi plugから脱落しない構造となっています。  
(汎用形を除く)
- ③i plugを手で持って引き抜き、i plugを取り外します。

\*ブレーカ同士が密着して手で持ちにくい時は、i plugの切欠き部に-ドライバーを挿入して、てこの原理で-ドライバーを押してください。i plug接触子が母線から引き抜かれます。この時ブレーカが落下しないようにブレーカを手で支え、取り外しが終わるまで離さないでください。また、ブレーカ電源側、負荷側2カ所の切り欠き両方に対してこの手順を行ってください。



### ●400,600AF

\*取り付け・取り外し作業は、1人作業が困難な場合は、安全のため2人作業をおすすめします。

#### ○取り付け(右図参照)

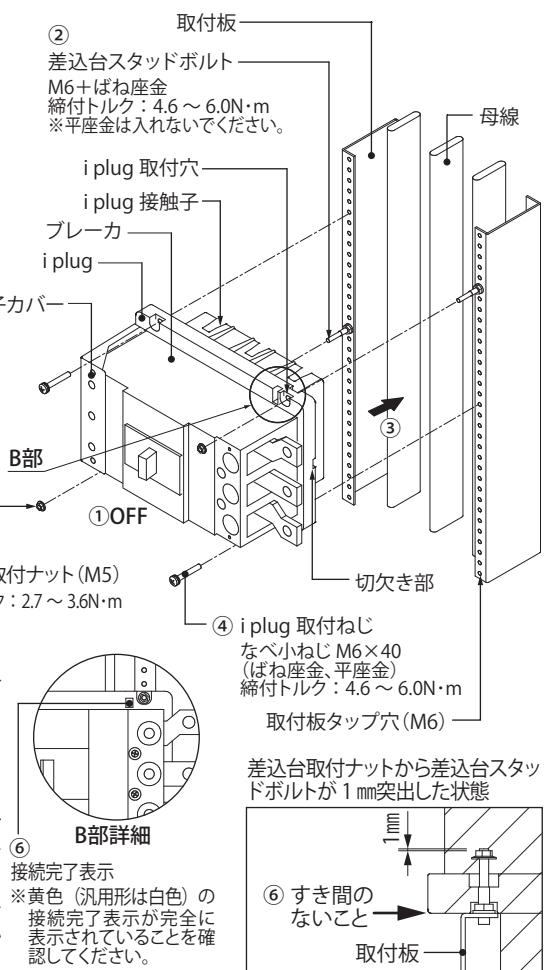
- ①i plugに搭載されたブレーカをOFF状態にします。
- ②差込台スタッズボルト(2カ所)を取付板タップ穴に挿入し、スパナで締め付けます。
- ③ブレーカを手で持ち差込台スタッズボルトにi plug取付穴を合わせて、i plug接触子が母線先端に当たるまでブレーカを押し込みます。次の④の手順が終わるまでブレーカが落下しないようにブレーカを手で支えてください。  
※400,600AFのi plug接触子は手の力では母線に差し込めません。
- ④i plug取付穴に挿入し、ねじ(2カ所)を少しずつ均等に+ドライバーで締め付けます。締め付けが終わったらブレーカから手を離します。
- ⑤差込台スタッズボルトに差込台取付ナット(2カ所)をボックスレンチで締め付けます。
- ⑥黄色(汎用形は白色)の接続完了表示が完全に表示されていること、およびi plugと取付板の間に隙間のないことを確認します。

スタッズボルト取付ピッチ

AF	製品幅 mm	ピッチ mm
400	180	165
600	240	225

#### □取り外し

- ①i plugに搭載されたブレーカおよび上位ブレーカをOFF状態にします。
- ②差込台取付ナットをボックスレンチで緩め、差込台スタッズボルトの先端が差込台取付ナットから1mm程度突出した状態にします。  
※差込台取付ナットは取り外さないでください。
- ③i plug取付ねじ(2カ所)を+ドライバーで緩めて外します。
- ④i plugの切欠き部に-ドライバーを挿入し、てこの原理で-ドライバーを押してください。i plug接触子が母線から引き抜かれます。ブレーカ電源側、負荷側2カ所の切り欠き両方に対してこの手順を行ってください。片方だけ行っても引き抜きは完了しません。
- ⑤ブレーカが落下しないように、ブレーカを手で支えながら差込台取付ナットをボックスレンチで緩めて外します。ブレーカを支える手は、次の⑥の手順が終わるまで離さないでください。
- ⑥ブレーカを手で持って引き出し、i plugを取り外します。



### ●充電部保護板の取り付け(右図参照)

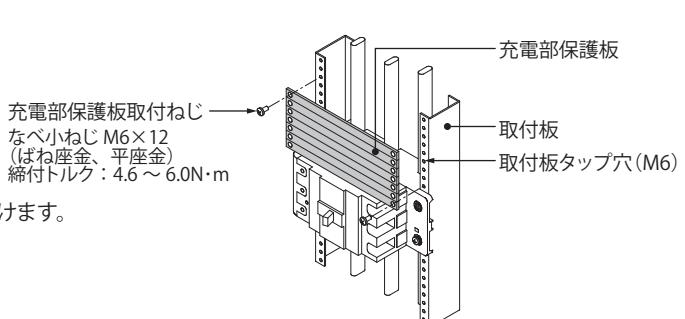
①充電部保護板を取り付ける隙間を測ります。

15mm単位で幅を調整できます。(最大105mm)

②充電部保護板を手で折ります。

③折る部分の梁をニッパーまたはラジオペンチで取り除きます。

④充電部保護板を充電部保護板取付ねじ(2カ所または4カ所)で締め付けます。



## ■相切替方法

- ①サブベースの固定ねじ（2カ所）を緩め、サブベースを取り外します。（図1）  
固定ねじは、脱落防止構造になっています。

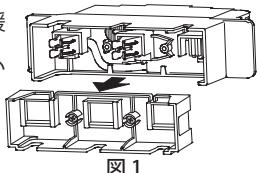
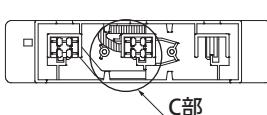


図1

- ②変更するi plug接触子の位置を、下記の「相切替時のi plug接触子配置図」にて確認してください。

切り替えるi plug接触子をi plug接触子固定部から、水平方向にスライド（図2）させながら、i plug接触子を回転（図3）させて外し、より線をより線押さえリブから引き上げます。



C部

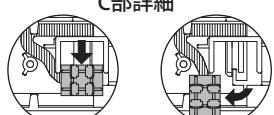


図2



図3

- ③変更する箇所のより線押さえリブにより線をはめてから、手順②の逆の手順でi plug接触子を軽く手前に引きながら、横へスライドさせて固定します。

※i plug接触子は、i plug接触子固定部に確実にはめてください。

- ④より線が浮かないようにフォーミングを行い、サブベースにはめてねじを締めます。（締付トルク1.8～2.0N·m）

※サブベースとベースの間に隙間がないことを確認します。

- ⑤付属品の相表示ラベルに切替えた位置をマーキングし、貼り替えてください。

## ! 注意

被覆より線を無理に引張ったり、押し込んだりしないでください。  
発熱・発火のおそれがあります。

サブベース固定ねじは、規定トルク以上で締めないでください。  
締めすぎるとベースを破損するおそれがあります。



i plug接触子の母線と接触部（図4斜線部分）には触らないでください。また、埃、油などが付着しないようにしてください。  
発熱・発火のおそれがあります。

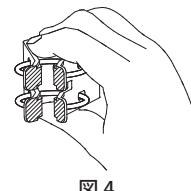


図4

i plug接触子は、側面（図4）を持って切り替えを行ってください。  
発熱・発火のおそれがあります。

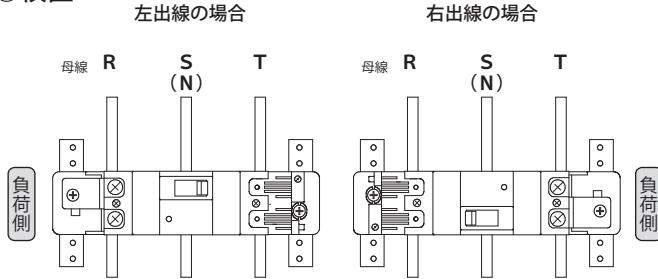
被覆より線は、より線押さえリブの下を通してください。より線が浮いているとサブベースをベースに確実に固定できません。  
また、サブベースとベースの固定を誤った状態で分電盤へ取り付けるとi plug接触子が母線に差し込まれなかつたり、取り外す時にi plug接触子が変形するおそれがあります。サブベースとベースの固定は、確実に行ってください。

サブベースをベースにはめにくい時は、ベースのi plug接触子固定部にi plug接触子が、確実に奥まで収まっているか確認してください。サブベースを無理にはめると、破損するおそれがあります。

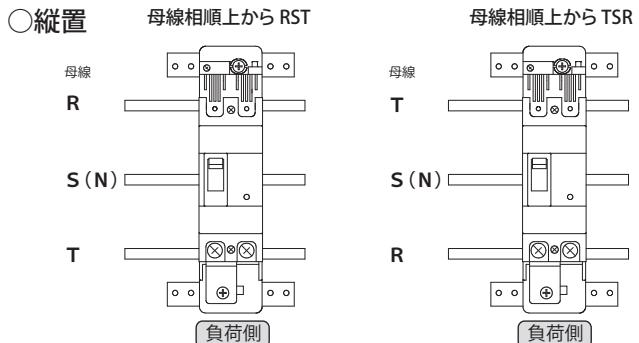
## ■相切替時のi plug接触子配置図

### ●分電盤取り付け状態

#### ○横置



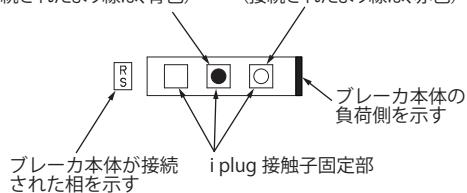
#### ○縦置



### ●i plug簡略図例(裏面図)

ブレーカ L2相の電源側端子に接続されたi plug接触子を示す  
（接続されたより線は、青色）

ブレーカ L1相の電源側端子に接続されたi plug接触子を示す  
（接続されたより線は、赤色）



#### [被覆より線の色識別]

i plug接触子とブレーカの電源側端子との接続を確認するための識別であり、母線の相の色識別とは異なります。

	横置		縦置	
	左出線	右出線	母線相順上からRST	母線相順上からTSR
R	□	● ○	○ □	□ ○ ○
S	● ○ ○	□ ○ □	○ ○ ○	● ○ ○
T	○ □ ○	○ □ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
R	□ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	□ ○ ○
N	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
T	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
T	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○

施工業者名

TEL

施工年月日

年 月 日

### お問い合わせ先

ご不明な点がありましたら弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

TEL(0561)64-0152

〈受付時間〉9:00～12:00、13:00～17:00(土・日・祝日は休み)

- お客様からご提供いただいた個人情報は、商品の修理やご相談への対応、および情報の提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、グループ各社と共同で利用させていただく場合があります。
- 個人情報はあらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に提供することはいたしません。

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。  
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2025年9月

B599306920

**NITTO KOGYO**

©NITTO KOGYO CORPORATION

日東工業株式会社

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地